

平成29年第1回定例会（5月11日、12日）

農林水産委員会提出資料

（所管事項関係）

平成29年5月11日

農 林 水 産 部

目 次

- 1 4月17日から19日の暴風による被害と対応状況について [水田総合利用課] -----1
- 2 平成28年度の主要園芸品目の生産・販売実績について [園芸振興課] -----2
- 3 第11回全国和牛能力共進会宮城大会に向けた取組状況について
[畜産振興課] -----4
- 4 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への県産木材の供給について
[林業木材産業課] -----6

1 4月17日から19日の暴風による被害と対応状況について

水田総合利用課

1 被害状況

- (1) 被害額 146,726千円（4月県政協議会報告時点 108,140千円）
 ・栽培施設等 146,380千円
 ・農作物等 346千円（トマト苗、水耕栽培レタス、比内地鶏）

(2) 栽培施設等の被害状況

区分	被害程度	棟数	地区別棟数
パイプハウス	全壊	102	鹿角 1 山本 16
	半壊	65	秋田 309 由利 143
	ビニール破損等	621	仙北 317 平鹿 5
	小計	788	雄勝 14
その他（格納庫、畜舎等）		17	※ 園芸用ハウス
計		805	全壊：7、半壊：6 計：13

2 復旧に向けた対応

- 水稻育苗ハウスを中心に復旧作業が進んでおり、一部で苗の生育の遅れはあるものの、春作業への影響はほとんど無い。
- 園芸用ハウス等の復旧については、夢プラン応援事業により支援することにしており、現在、各地域振興局において事業申請を受け付けている。
 なお、農業共済においては、既に損害評価は終了しており、6月上旬には支払見込み(約570棟)となっている。

事務処理スケジュール	
○ 復旧支援措置の通知	4月27日(木)
○ 要望報告期限	5月12日(金)
○ 要望地区への割当内示	5月19日(金)
○ 補助金交付	事業完了確認後、速やかに交付

【参考】

春作業の進捗状況（5月10日現在）

() 内は平年値

地域	播種作業		耕起作業			田植作業
	盛期[50%]	終期[95%]	始期[5%]	盛期[50%]	終期[95%]	始期[5%]
全 県	4/21(4/21)	4/30(4/30)	4/22(4/23)	5/3(5/4)	—(5/13)	(5/13)
県 北	4/17(4/18)	4/26(4/26)	4/22(4/23)	5/2(5/3)	5/10(5/11)	(5/16)
県中央	4/16(4/18)	4/27(4/26)	4/19(4/20)	4/30(4/30)	5/9(5/9)	(5/11)
県 南	4/25(4/26)	4/30(5/1)	4/30(5/1)	5/6(5/7)	—(5/16)	(5/19)

平成28年度の主要園芸品目の生産・販売実績について

園芸振興課

園芸メガ団地等の大規模園芸拠点の整備や県オリジナル品種の作付拡大等により、えだまめやねぎ、花き等の生産量が飛躍的に増大し、平成28年度 J A 系統販売額が194億円となり、前年度より6億3千万円増加した。

なお、園芸品目全体の平成27年度産出額は407億円と前年度より33億円増加している。

1 野菜

- えだまめについては、機械化一貫体系の確立や選別機の導入等により、栽培面積が年々拡大し、東京都中央卸売市場への出荷量（7～10月）が1,384tとなり、2年連続で日本一を達成。
- ねぎについては、周年生産が進み、J A あきた白神が販売額13億円、J A こまちが2億円を突破するなど、全県の系統販売額が20億円超と過去最高の実績。

2 果樹

- 県南部を中心とした雪害からの復旧が進み、主要5品目（りんご、なし、ぶどう、おうとう、もも）の販売額は被災前の8割まで回復。
- 特に、県オリジナル品種のりんご「秋田紅あかり」や日本なし「秋泉」、種なし大粒種のぶどう「シャインマスカット」等は、食味が良く市場評価が高いことから、年々栽培面積が拡大。

3 花き

- 県オリジナル品種の「秋田りんどう」、「NAMAHAJEダリア」の生産拡大や園芸メガ団地におけるキク類の増加等により、花き全体の系統販売額は過去最高の21億円を突破。
- 「NAMAHAJEダリア」シリーズは28品種まで増加し、中でも「NAMAHAJEチーク」は「NAMAHAJEマジック」に次いで、2度目の「フラワー・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

4 しいたけ

- 本県産は、年間を通じた堅調な需要と高い市場評価を背景に、東京都中央卸売市場における販売単価（1,260円/kg）が全国一となるとともに、冬期の複合作目として年々生産量が増加。

【参考1】JA系統販売額の推移

野菜

(単位:百万円・%)

品目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	伸び率 (H28/H24)
えだまめ	960	941	1,073	1,319	1,342	140
ねぎ	1,253	1,408	1,538	1,793	2,192	175
アスパラガス	943	868	862	914	886	94
トマト	838	858	799	941	941	112
きゅうり	952	1,134	1,277	1,267	1,133	119
すいか	1,522	1,436	1,398	1,781	1,762	116
主要6品目計	6,468	6,645	6,947	8,015	8,256	128
野菜計	9,379	9,605	9,563	10,991	11,156	119

果樹

(単位:百万円・%)

品目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	伸び率 (H28/H24)
りんご	907	1,060	859	1,072	1,284	142
なし	384	279	375	432	413	108
ぶどう	197	197	144	213	222	113
おうとう	103	186	171	207	213	207
もも	155	128	151	180	143	92
主要5品目計	1,746	1,850	1,700	2,104	2,275	130
果樹計	1,752	1,874	1,959	2,131	2,302	131

花き

(単位:百万円・%)

品目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	伸び率 (H28/H24)
キク類	749	697	731	838	930	124
トルコギキョウ	212	260	256	295	300	142
ユリ類	111	113	106	134	110	99
リンドウ	273	311	360	364	414	152
ダリア	34	57	77	87	109	321
主要5品目計	1,379	1,438	1,530	1,718	1,863	135
花き計	1,706	1,742	1,876	2,028	2,164	127

きのこ

(単位:百万円・%)

品目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	伸び率 (H28/H24)
しいたけ	2,880	2,976	3,347	3,420	3,635	126
きのこ計	3,069	3,151	3,518	3,628	3,788	123

総計

(単位:百万円・%)

品目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	伸び率 (H28/H24)
主要園芸17品目計	12,473	12,909	13,524	15,257	16,029	129
園芸品目総計	15,906	16,372	16,916	18,778	19,410	122

※JA生産販売実績より(H28年は速報値)

※各作目の計はその他品目も含む

【参考2】園芸品目の農業産出額の推移

(単位:億円・%)

品目	24年	25年	26年	27年	伸び率 (H27/H24)
野菜	239	241	235	261	109
果樹	62	69	63	64	103
花き	26	27	27	31	119
きのこ	39	40	49	51	131
計	366	377	374	407	111

3 第11回全国和牛能力共進会宮城大会に向けた取組状況について

畜産振興課

肉用牛産地としての評価向上を図るため、宮城県で開催される第11回全国和牛能力共進会での上位入賞に向け、生産者及び関係団体等と一体となって取組を進めている。

1 第11回全国和牛能力共進会宮城大会の概要

- ・ 日 時 平成29年9月7日（木）～11日（月）
- ・ 会 場 種牛の部：夢メッセみやぎ
肉牛の部：仙台市食肉市場
- ・ 参加道府県 39道府県
- ・ 出品頭数 517頭（繁殖雌牛312頭、種雄牛候補22頭、肥育牛183頭）
- ・ うち本県 19頭（ " 10頭、 " 1頭、 " 8頭）

2 これまでの取組状況

(1) 種牛（繁殖雌牛・種雄牛候補）の部

- ・ 25年4月～：義平福産子のうち、優秀な雌子牛の保留を推奨
- ・ 26年8月～：調教技術向上を図るための研修会や農家への個別指導を実施
- ・ 29年4月17日：1次選抜（80頭→30頭）

(2) 肉牛（肥育牛）の部

- ・ 25～28年度：全共基準である24カ月肥育を3度試行
- ・ 26年11月～：高能力雌牛と県有種雄牛との交配により出品候補牛の作出を開始
- ・ 28年4月～：出品候補牛40頭の肥育を開始し、肥育指導や発育調査を実施
- ・ 29年4月21日：1次選抜（40頭→27頭）

3 今後のスケジュール

(1) 種牛の部

調教技術や牛体管理の指導を継続し、6月に出品牛11頭を最終選抜

(2) 肉牛の部

発育調査や血液検査、脂肪交雑診断等を実施し、7月に出品牛8頭を最終選抜

(3) 壮行会

8月に、あきた総合家畜市場において出品者や出品牛を一堂に会した壮行会を開催

部門	出品区	区分名	父牛	出品頭数	H29 4月	5月	6月	7月	8月	9月
種牛の部	1区	若雄（15～23か月齢）		1	2頭		1頭			9/7～9/11 宮城全共
	2区	若雌1（14～17か月齢）		1						
	3区	若雌2（17～20か月齢）		1	一次選抜 80頭↓30頭	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	
	5区	繁殖雌牛群（1セット4頭）		4			最終選抜 30頭↓10頭		巡回指導	
	7区	総合評価群 繁殖雌牛（1セット4頭） 肉牛（1セット3頭）	義平福	4					巡回指導	
肉牛の部	8区	若雄後代（1セット3頭）	松糸華	3	一次選抜 40頭↓27頭	巡回指導	巡回指導	巡回指導	巡回指導	
	9区	去勢肥育（24か月齢未満）	義平福	2				最終選抜 27頭↓8頭	巡回指導	
	計			19頭	59頭		38頭	19頭		

【参考】 第11回全国和牛能力共進会 宮城大会の概要

1 大会会場位置図



2 取組状況



調教訓練



超音波による脂肪交雑診断



体重測定

3 大会の様子(前回長崎大会)



種牛の部 審査



肉牛の部 審査

4 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への 県産木材の供給について

林業木材産業課

秋田スギ等のブランド力向上を図るため、東京オリンピック・パラリンピック関連施設における県産木材利用の働きかけと供給体制の整備を進めている。

1 木材利用に関する動き

新国立競技場は「木と緑のスタジアム」をコンセプトに屋根や内外装に木材を多用するほか、各競技施設においても木材利用が計画されている。

〔主な施設：新国立競技場、有明アリーナ、有明体操競技場等 10施設〕

2 本県における対応状況等

(1) これまでの対応

ア 大会関連施設への利用の働きかけ

- ・ 官民協働の協議会（オリンピック・パラリンピック県産材利用促進協議会）を推進母体に、新国立競技場等に関連する建設企業や建材商社等（12社及び3団体）をターゲットにPR活動を展開。

イ 森林認証の取得

- ・ 新国立競技場等にあっては、持続可能な方法で管理されている木材製品の供給が求められていることから、県有林や上小阿仁村有林、県内の主要な木材加工企業が森林認証を取得。

（県有林 1,895ha、上小阿仁村有林 1,984ha、製材工場4社、集成材工場3社）

(2) 現在の状況

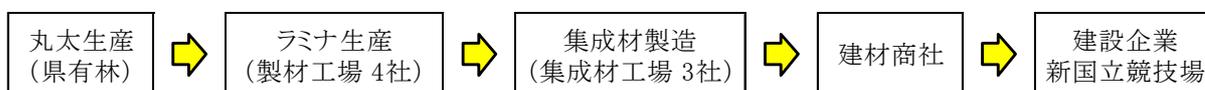
ア 新国立競技場

- ・ 平成28年12月に着工。屋根や外装にスギ集成材等を使用する計画になっているものの、調達先や数量は未公表。
- ・ 平成29年2月から森林認証を受けた丸太（県有林）を生産し、県内の木材加工企業に供給するなど、スギ集成材等の受注に備えている。

イ その他の競技施設

- ・ 木材の利用方法、樹種、数量等の詳細は建設企業等において検討中。

[新国立競技場への県産木材の供給フロー]



3 今後の対応

- (1) 新国立競技場の内装及びその他の競技施設を対象に、県産木材利用の働きかけや納品ルート等に関する情報収集を継続。
- (2) 各競技施設のニーズに幅広く対応できるよう、構造材や内装材、家具等の木材加工企業と情報を共有。

【参考1】東京オリンピック・パラリンピック関連施設における木材利用計画

	施設名称	実施競技等	区分	木材利用箇所（使用量）
1	新国立競技場	開閉会式、陸上等	恒久施設	屋根、内外装（1,800m ³ ）
2	有明アリーナ	バレーボール	恒久施設	屋根、内装（1,000m ³ ）
3	アクアティクスセンター	水泳	恒久施設	内装
4	海の森水上競技場	ボート、カヌー	恒久施設	内装
5	大井ホッケー競技場	ホッケー	恒久移設	内装
6	有明テニスの森	テニス	恒久施設	屋根、内装
7	葛西臨海公園	カヌー	恒久施設	内装
8	有明体操競技場	体操	仮設施設	屋根
9	ビレッジプラザ	選手村店舗	仮設施設	検討中
10	馬事公苑	馬術	恒久施設	内装等

【参考2】新国立競技場整備計画



[整備スケジュール]

- ・着工 平成28年12月
- ・屋根工事 平成30年 2月～
- ・外装工事 平成30年 5月～
- ・完成 平成31年11月
- （大会期間 平成32年 7月～9月）

